

令和6年度診療科別目標発表



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

腎臓内科

医師の紹介

腎臓内科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital



No.	氏名	役職等
1	佐々木 貴充	医長
2	中上 大輔	医員
3	北本 周平	医員
4	後藤 優也	医員
5	山本 龍夫	診療部参与/嘱託医師

診療実績等

腎臓内科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

主な診療実績	R 3	R 4	R 5
外来患者数	36.9人／日	47.6人／日	48.9人／日
入院患者数	10.5人／日	13.0人／日	12.1人／日
新入院患者数	21.5人／月	26.3人／月	26.3人／月

D P C 病名別症例数	R 3	R 4	R 5
慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎 ・慢性腎不全	110人／年	67人／年	84人／年
手術・処置等の合併症	56人／年	95人／年	62人／年
ネフローゼ症候群	9人／年	13人／年	20人／年
心不全	5人／年	16人／年	14人／年
誤嚥性肺炎	5人／年	14人／年	7人／年

※girasol抽出データ（MDC6分類）による

中期目標・令和9年度に目指す姿

腎臓内科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

令和9年度

令和5年度

新規透析導入患者、末期腎不全による死亡者の減少

- ・ 慢性腎臓病の発症予防、早期発見、重症化予防に取り組む
- ・ CKD指導、栄養指導、腎代替療法の選択など患者教育を充実させる
- ・ かかりつけ医と連携して、適切な医療を提供する
- ・ 血管外科、放射線科と協力して、内シャント血管の管理をおこなう
- ・ ストレスがなく働きやすい職場環境の整備に努める

短期目標・令和6～7年度の目標



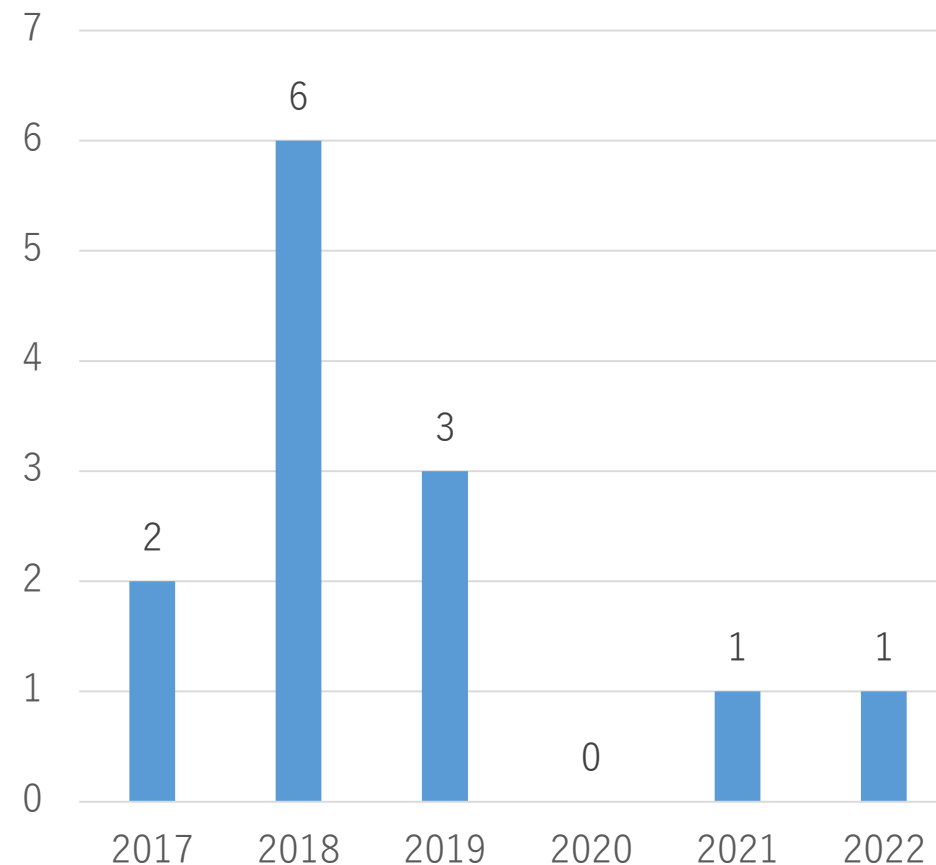
藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

腎臓内科

No.	項目	目標
1	CKD発症予防	家庭での血圧測定や適正体重の維持、減塩、禁煙などCKD発症に関連する生活習慣を改善させる
2	CKD早期発見	- 特定健診、職場検診、人間ドッグなど生活習慣病やCKDの早期発見を推進する - かかりつけ医と連携し、適切な時期の紹介を推進する
3	CKD重症化予防	糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症などCKD重症化に関連する疾患を適切に管理する
4	ストレスのない労働環境	- 他科と連携して適切な医療を提供する - 労働環境や労働時間を意識して改善する

CKD指導の取り組み

- 腎臓内科の医師だけでなく、透析室の看護師や、臨床栄養士とも協力して、腎臓病指導や生活指導、栄養指導、腎代替療法選択をおこない、患者や家族の理解を深めている。
- 腎機能障害の進行抑制や、透析導入時期の延長だけでなく、透析導入の受容を促し、緊急透析を減らす効果が得られている。



■ 透析の受容が出来ず、内シャント作成前に
カテーテル緊急透析となった透析導入患者数

決 意

CKDの発症予防、早期発見、
重症化予防を徹底し、
一人でも多くの住民の皆様が
透析を必要としない生活を
送れるようにすることで、
増大している医療費を抑制する